

## 城東区区政会議部会（8月）での意見・質問への区の方

番号	部会名	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
1	地域防災防犯部会	<p>◇福祉避難所等災害時要援護者に関する課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の震災で、福祉避難所が課題となっている。</li> <li>・高齢者や障がい者、乳幼児など災害時要援護者に対する視点が重要であり、何が課題であるかを明らかにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城東区では特別養護老人ホーム5カ所と、自立支援協議会に入っている障がい者施設すべてが福祉避難所となっている。</li> <li>・ただ、現状では入所者が基本になるため、たくさんの方の受け入れが難しいのが課題である。</li> <li>・発災時においても、福祉避難所の人員体制が整うまでは、地域の避難所で過ごす必要がある、そこでどう対応していくかも課題。</li> <li>・今年度は、介護老人保健施設等との協定も検討しているところである。</li> </ul>
2	地域防災防犯部会	<p>◇防災マップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップは区民に行き渡っているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月の新庁舎完成の際に配布した区広報誌「ふれあい城東増刊号」と一緒に防災マップは全世帯に配布している。</li> <li>・また、区役所1階総合案内や3階市民協働課にも設置しているので、お申し出いただきたい。</li> </ul>
3	地域防災防犯部会	<p>◇道路の段差解消や歩道整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車で走っていると、道路の段差がひどいところがある。段差解消の工事計画は、何年かに一度など、決まっているのか。</li> <li>・両方に歩道がある道路について、どちらか片側に歩道を寄せて、歩道を広くするという工事は考えられないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわゆる車道のでこぼこについては、車がブレーキを踏むところがたわみ、でこぼこが出来ると聞いている。工事については、担当局等において計画を立て行っていると思うが、状況により緊急対応も行っていると思われる。</li> <li>・また、歩道と車道の段差については、限りなくゼロに近いほうが望ましいとは考えるが、次のような理由から段差を設けているのでご理解・ご協力をお願いしたい。  車道から歩行者等の安全確保  視覚障がいのある方が白杖や靴の裏で段差を感じることで車道と歩道を区別する  車道の雨水等が歩道や道路に面する家屋等に入らないための排水機能</li> <li>・なお、標準的な段差については、主要道路が15～20cm、コミュニティ道路は5cm、横断歩道部分は2cmとなっている。</li> <li>・いわゆる生活道路については、沿道宅地や周辺道路の状況等を勘案するなど、利用者の安全性や利便性の向上を図る必要がある、道路空間の活用方法としては理解できるものとする。</li> <li>・しかしながら、既存の歩道を片側に寄せるとなると、沿道の方々の全員同意、宅地等からの車道への飛び出し防止等の安全確保、変更に伴う歩行者の導線確保、宅地等と車道との高低差の処理等の課題整理や対応策が必要となる。</li> </ul>

4	地域防災防犯部会	<p>◇水害時の避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒲生公園一帯が広域避難場所に指定されたが、以前集中豪雨で一帯が浸水した。そうしたこともあり、水害時でも避難場所として活用できるのか、水の処理がどうなっているのか聞きたい。</li> <li>・新区民ホールは避難場所として使用できるのか。</li> <li>・蒲生公園一帯にはトイレはどのくらいあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の雨水排水能力は、概ね10年に一度の大雨(60mm/1h)への対応として浸水対策事業を進めており、その達成率は全市平均で84.3%と聞いている。しかし、60mmを越える雨が一時的に集中的に降った場合、浸水が起りやすくなる。</li> <li>・抜本的対策としては、担当主要な下水道幹線の建設やポンプ施設の新設等を担当局等において実施されている。また、平成23～25年度の豪雨で浸水した地域を中心に雨水を集める「ます」の増設や、下水道からの逆流防止弁の設置なども行われている。</li> <li>・こうしたことから、蒲生公園の広域避難場所については、一時的に大雨が降った場合には浸水する可能性があるため、一旦は区役所等の高所に避難し、グラウンドの浸水が解消した時点での使用は可能であると考えている。</li> <li>・区民ホールについては、大阪市の防災計画において災害の内容・規模にもよるが、ボランティアセンターや遺体安置所としての使用を想定している。ただ、大雨が降ってすぐにそうした目的で使用するわけではないので、避難された方については、ひとまずとどまっていたことは可能であると考えている。</li> <li>・トイレについては、今年度、蒲生公園内にマンホールトイレを20基設置する予定になっている。他にも、一時的なトイレとして簡易トイレとトイレテントを区役所の防災倉庫に相当量備蓄している。</li> <li>・先日の熊本地震の際にも区役所の職員を避難所へ派遣しており、そこで経験したことを踏まえて、防災訓練などに取り組んでいきたい。</li> </ul>
5	地域防災防犯部会	<p>◇もと城東区民ホールの跡地活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設を建てる前の説明会では、もと区民ホールは耐震性が確保されているため、売却しないと聞いていたが、今現在、売却すると聞いている。</li> <li>・マンションは不要であり、緑地と避難場所が必要。地元の意見を聞いてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もと区民ホールの建物自体は耐震性を満たしているため、市役所関係部局で利活用を検討していたが、現時点で活用希望がなく、関係局からは売却の方向で進めていくと聞いている。</li> <li>・本市の厳しい財政状況下において、重要な売却財源になっているが、地元の声ということで関係局に伝えてまいりたい。</li> </ul>
6	地域防災防犯部会	<p>◇広域避難場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城東区の周辺の広域避難場所は北部に偏っているように感じる。</li> <li>・区内南部の住民の視点をもって、今後の充実を図っていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域避難場所の指定は危機管理室が行っているが、指定に際しては一定の面積など諸条件があり、新たな指定は難しい状況である。</li> <li>・実際の災害時においては、まず近くの一時避難場所にひとまず避難いただき、状況により広域避難所に移っていただくこともあるかと考える。</li> </ul>

7	地域防災防犯部会	<p>◇発災時間による避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の発災時に、自分が家にいるかどうか分からないし、いろんな状況で発生するので、その点についても考えておく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時、夜間であれば住民の方が中心になるが、昼は付近の事業所等で勤務されている方、また通勤時間帯であると通勤・通学途中の方が避難してくる。</li> <li>・例えば、京橋は非常に大きいターミナルであるので、通勤・通学の時間帯であれば、その方々をどう避難させるかが非常に大きなテーマである。避難所は地域の方だけでなく、そうした方も受け入れをしていただく必要がある。</li> </ul>
8	地域防災防犯部会	<p>◇地域での訓練の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で夜間の避難訓練を実施しているが、実際に災害が起きた時のことを考えると非常に不安。他の事例を参考にしながら取り組んでいきたい。</li> <li>・地域で皆さんに協力してもらいながら災害訓練、避難訓練等行ってきたが、新しいことを実施しようとする、関わる人の負担も大きくなり、続けていくのが難しい状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に災害が発生した場合には、訓練で行ったことやマニュアル通りの想定で物事が動くわけではないが、引き続き地域での防災訓練に力を入れるとともに、区役所職員についても訓練を重ね資質の向上が必要であると考えている。</li> <li>・熊本地震においては、区役所からも現地に職員を派遣しており、現地で経験してきたことを活かしてまいりたい。</li> </ul>
9	地域防災防犯部会	<p>◇蒲生グラウンドへの緊急車両の進入について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時には、かなり大きな緊急車両が進入すると思うが、どのように蒲生グラウンドに入ってくるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災後の道路状況等にもよるが、国道1号線など大きな道路を通り城東警察署の前から北に入り、公園の西側の道路から侵入することとなると考える。</li> <li>・グラウンド内では、大型車両が一回で入れるよう、幅員も確保された設計となっていると聞いている。</li> </ul>
10	地域防災防犯部会	<p>◇防犯啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯活動はどのようなことに取り組んでいるのか。</li> <li>・空き巣対策を広報誌で周知できないか。</li> <li>・特殊詐欺が増えている。地域でも人が集まる場で情報共有するなど、注意喚起が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城東区は1,000人あたりの刑法犯の認知発生件数の少なさで、以前は24区中で最も少なかったが、現在は4～5番目となっている。</li> <li>・犯罪の種類としては、自転車盗の件数がなかなか減らない状況となっているため、今年から鍵の二重ロックを推奨しキャンペーンを実施しているところである。</li> <li>・空き巣対策については、広報誌での啓発等を検討してまいりたい。</li> <li>・特殊詐欺については、区役所の青色防犯パトロールが巡回する際に録音テープを流し注意喚起を行っている。</li> </ul>

11	地域福祉部会	<p>◇新庁舎内外の点字ブロック、東南角の交差点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎の中の廊下と、区役所の前の歩道に点字ブロックが設置されていない。オープン時にはついておくべきであると考えるが、経緯の説明と早急な設置を要望する。</li> <li>・東南角の交差点については、音声の信号機を設置していただきたい。</li> </ul>	<p>(点字ブロックの設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区総合庁舎新設にあたって区役所への点字ブロックは地下鉄蒲生4丁目駅を起点に城東区総合庁舎内1階総合案内カウンターまで設置されている。</li> <li>・なお、区民センター、図書館、老人福祉センターなど各施設までの点字ブロックは設置されていない。</li> <li>・この経緯を庁舎建設担当部局に確認したところ、総合庁舎内の各施設へは総合案内カウンターより職員等の案内があるものとの前提にたって設計したものと聞いている。</li> <li>・区には3月のオープン以来、点字ブロックの設置に関して、利用者の利便性の観点から多くのご意見をいただいている。</li> <li>・区としても総合案内カウンターが区役所の開庁時間内の対応となっており、区民センター、図書館、老人福祉センターの開設時間には対応していないことから、早急に点字ブロックを設置する方向で調整を進めている。</li> <li>・すでに、区役所南側歩道は建設局の協力を得て、宿直入口のある南側入口前まで点字ブロックが延伸されたところである。</li> <li>・今後、関係局の協力を得て、平成28年度内を目途に区総合庁舎内にも点字ブロックを設置する予定。</li> </ul> <p>(区役所南東角交差点への音声信号機の設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所南東角交差点の安全性については、城東警察署へ協力を依頼しており、今後、横断歩道の設置など協力を得てまいりたい。</li> </ul>
12	地域福祉部会	<p>◇区内子ども食堂の運営状況、課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の子ども食堂の運営状況はどんな様子か。</li> <li>・こどもの居場所づくりとあわせて、何か計画ができないか。</li> <li>・運営するには、学校とも連携し、どんな時間を実施するのがいいのか等、環境を調べてから実施する必要がある。</li> <li>・地活協で運営するのであれば、ボランティアの調整や時間帯を精査しないと、継続した取組にならない。落ち着いて議論することが必要。</li> <li>・アイデアの段階だが、老人会や高齢者と連携し、ファミリー食堂のようにだれでも来れるような形で検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育地区については、喫茶店が毎週土曜に実施しているそうだが、地域との連携は特にないと聞いている。</li> <li>・聖賢地区については、月2回の実施で現在も継続中。人数が増えているとは聞いていない。</li> <li>・高齢者の食事サービスのような補助金ではなく、当面はボランティア活動振興基金などの対象にして、立ち上げ資金を援助するなど、活動を注視したい。</li> <li>・居場所づくりについては、学校と連携し、今福の子ども子育てプラザを中心に、不登校の生徒のケアを始めるところである。</li> </ul>
13	地域福祉部会	<p>◇貧困問題等への啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いま、マスコミで貧困女子高生へのバッシングが取り上げられている。また、相模原の障がい者施設の事件もあったが、貧困や障がい者に対して、偏見につながらないような啓発が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困の問題については、講演会等で多様な啓発に取り組んでまいりたい。</li> </ul>

14	地域福祉部会	<p>◇精神疾患による措置入院における退院後のフォローについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原の事件に関して、精神疾患で措置入院した場合、退院後の保健福祉センターや各機関の連携の現状は。</li> <li>・刑務所の場合であれば保護司が担当すると思うが、薬物依存などで、入退院を繰り返す場合、各関係機関とどう連携しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・措置入院後については、基本的に病気が一定軽快したということで、通常の生活に戻っていただく。戻ってこられたらご家族や、関わる人が保健福祉センターに相談に来られるので、訪問看護をいれるなど、支援をしていくフォローは行っている。</li> <li>・しかし、追跡調査のようなことは行っておらず、また非常にたくさんの方がおられるため、国の方でも退院後のケアのあり方が議論されていると考える。</li> </ul>
15	地域福祉部会	<p>◇フードバンク等の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども食堂や認知症カフェなど居場所づくりに関して、期間限定で区役所等にて、家庭で賞味期限が切れていない食品を持ち寄ってもらい、必要な方に届けられるような取組ができないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城東区社会福祉協議会で生活困窮者の相談窓口を設けており、その職員同士で、食料を集めているというのを聞いている。</li> <li>・神戸では、生協などが食材を提供して、こども食堂などに提供されていると聞いているが、ニーズが広がれば、こうした外部の団体、企業等との連携も考えていかなければならないと考えている。</li> </ul>
16	地域福祉部会	<p>◇保育士等の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの貧困問題において、保育士や学校の先生など、子どもを取り巻く方が、一番子どもに接しており重要である。</li> <li>・保育士の確保が難しいと聞くが、何らかの方法で改善できないか。</li> <li>・資格を持っている割には、給与が安いのでは。また保育がいる時間帯も朝早くや夕方など、主婦が働きやすい昼間ではないのも課題。</li> <li>・保育士だけでなく福祉の現場はどれも少ない状況ではないか。養成機関についても、生徒が少なくなり、学校も減ってきたため、この点についても改善すべき課題である。また事業によっても収入に偏りがあり、人的な面と併せて、事業所の質の担保、改善も必要である。</li> <li>・保育士は給料の割には、少しでも事故があったら大事になるなど、責任が重い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、新しい保育所を公募しているが、応募する法人がない状況。土地価格が高いものもあるが、保育士が確保できないので、なかなか応募できないという声も聞いている。</li> <li>・大阪市として支援金を出したり、出産で子どもを預けたら働ける保育士を優先的に入所させるなど、取組を検討中であるが、決め手がないのが現状。</li> <li>・社会福祉施設の質の担保については、非常に大きな問題。</li> <li>・保育所や特別養護老人ホームなどは、整備したらずぐに定員一杯になることから競争の原理は働きにくい、ということなどがあり、施設間でも質の差があることは認識している。施設を評価するシステムをつくっていくのが大きな課題である。</li> </ul>
17	地域福祉部会	<p>◇ふれあい喫茶等での取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の地域のふれあい喫茶では、過去にも正月やクリスマス、屋外でのコンサートなどの催しを実施してきたが、10月にはハロウィンの催しを実施するなど趣向を凝らして実施している。</li> <li>・自分の地域では、高齢者の孤立防止で多様な喫茶事業を行っている。出てこれない人が出てくれるような工夫ということで、ふれあい喫茶では、産地直送野菜販売を行っているのが好評で、参加者も増えてきた。</li> <li>・高齢者が元気になってもらうのが重要な課題ということで、いきいき百歳体操を実施しているが、来てる人は元気だが、来れない人、なじめない人をいかに来てもらうかが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各取組に來れない人をどうするのか、今まで来ていない若い人とのつながりをどうするのかというのが、地域福祉の大きな課題であり、地域でも非常に苦労されていることと思う。</li> <li>・区役所としては、地域だけで頑張るのではなく、医師会や包括支援センターなどの専門機関や民間企業などと連携して、新しい取り組みができないか検討しているところである。</li> </ul>

18	地域福祉部会	<p>◇こどもの貧困について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生になると、アルバイトもできるし、親からも少し離れられると思うが、小・中学生ぐらいまでは自分で働くこともできないので、学校と連携したフォローが必要。</li> <li>・中学校も給食になっているが、お金を払わないと食べられない。子どもたちにとっては、大切な命の糧なので、フォローができる体制が必要。</li> <li>・貧困の連鎖があると感じている。こども食堂もそうだが、学習の機会の保障も大切であり、夜に無料で学習できる場の提供も考えていければいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの貧困について、区役所も教育部門や、福祉、生活支援、子育て部門が連携しながら、具体的なソフト事業が展開できるか検討してまいりたい。</li> <li>・いくつかの小学校で学力の底上げということで、夕方に基礎的な勉強会を地域の協力を得ながら実施している。</li> <li>・実施していく中で、熱心に取組んでいる子どもがいる一方で、教える方、地域の方のボランティア確保面で課題が見えてきた。</li> <li>・中学校でも、9月からモデル的に蒲生中学校で、大阪市の塾代助成制度を活用しながら、民間事業者と連携して実施し、広報しているところ。</li> <li>・今後、どう拡大していくかを検討してまいりたい。</li> </ul>
19	地域福祉部会	<p>◇地域における障がいのある方との交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の地域では、いきいき体操のあと、アクションプランの一環で、障がい者施設と連携して、「わいわい喫茶」ということで、50円喫茶を実施している。</li> <li>・ただ、始めたころよりも、少しずつ参加者が減っており、その歯止め策を検討しているところである。</li> </ul>	—
20	地域福祉部会	<p>◇自転車に乗りながらのスマートフォンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車に乗りながらや、歩行中のスマートフォンの操作は大変危険で、死亡事故も発生している。注意、啓発を行う音声などがあればいいのだが。</li> </ul>	—
21	地域福祉部会	<p>◇事業所等の地域交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は商店街などに、中小の業者や商店などがたくさんあったが、高齢化したからか、かなり減ってきている。</li> <li>・商店街での買い物による交流や、祭り等での地域の人との交流など、城東区でも取り組んでいければよいと思う。</li> </ul>	—
22	地域福祉部会	<p>◇高齢者見守りの取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者の世帯状況を地図に落とし込む「思いやりマップ」を作成して、4年目になり、17町会中15町会の情報を提供いただいた。</li> <li>・個人情報も配慮しながら、集約した情報を町会に返すが、活用できているかが疑問であった。</li> <li>・一歩踏み込んだ活用案として、「ご近所お元気ですか隊」ということで、10～15軒を単位に見守ってもらい、少し気になることがあれば必要に応じて各支援機関等とも連携しながら、訪問してもらうなどの取組を検討しているところ。</li> <li>・地域で協力、理解が得られるよう、根気よく説明し、見守りの体制を作っていきたい。</li> <li>・高齢者支援の取組には民生委員とも連携していければいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者名簿の活用については、どうしていったらいいのかということについて突破口になる可能性もあるので、一緒に考えさせていただき、また情報提供していきたい。</li> <li>・要援護者の方の情報については、個人情報の問題とは相反しているが、近所の人を知っていると意味がないので、どう進めていくか一緒に考えていきたい。</li> </ul>

23	地域福祉部会	<p>◇地活協での取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会では全16地域で、昨年の4月から情報交換会を実施している。</li> <li>・福祉部会などの部会もあり、各地域の取組を発表いただくなかで、良い取組を取り入れるなど、福祉、災害などについて議論している。</li> </ul>	—
24	地域まちづくり部会	<p>◇もと区役所およびもと区民ホール跡地の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練に参加して、地域コミュニティが大切であり、豊かになればよいと強く思った。</li> <li>・区役所や区民ホールの跡地について、地域のコミュニティづくりや、いろんな人がつながりを持てるような施設が出来ればよい。</li> <li>・活用のアイデアについては、多世代に渡って区民の意見を取り入れられるようプロジェクトチームの構成や、子どもが参画できるような取組を考えていただきたい。</li> <li>・こどもの貧困に対して、市長も力を入れるといったこともあり、子ども食堂など、そうした施設が必要なのでは。また子どもや高齢者が集い、スポーツ、ボランティアなど多様な活動ができるような施設をつくるチャンスではないか。</li> <li>・市の財政状況も理解しているが、城東区の住民として、城東区をどうしていくかを考えていきたい。</li> <li>・こうした問題については、自分個人の意見より多数の意見をまとめることが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もと区役所については、新庁舎の建替財源にあたっているということで、基本的には売却の方向である。</li> <li>・その中で、昨年7月の区政会議での議論や、27年9月に各地域活動協議会長連名により、地域のにぎわい、安心、福祉的な観点も含めた検討を進められたいとの要望書もいただいているので、単純な売却ではなく、現在関係各局でプロジェクトチームを設置して、活用方法の検討を行っているところである。</li> <li>・もと区民ホールの建物自体は耐震性を満たしているため、市役所関係部局で利活用を検討していたが、現時点で活用希望がなく、関係局からは売却の方向で進めていくと聞いている。</li> <li>・本市の厳しい財政状況下において、重要な売却財源になっているが、地元の声ということで関係局に伝えてまいりたい。</li> </ul>
25	地域まちづくり部会	<p>◇複合庁舎1階西南角の問題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階西南角、工業会との問題については解決したのか。</li> <li>・まだであれば、速やかな解決を望むとともに、大阪市で使用できるのであれば、より有効な使い方ができる場所であるので、今後方向性を明確にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「複合庁舎1階西南角のスペースについては、平成28年5月9日付けで城東鶴見工業会より大阪簡易裁判所あて『地代および賃料確定等調停申立事件』として申し立てがなされたが、平成28年9月28日に調停が不成立で終了した。」</li> <li>・「引き続き、貸室の建物賃貸借契約の締結に向けて協議を進めていく」</li> <li>・上記のとおり市民局から聞いている。引続き、区役所としてはその動向を注視していく。</li> </ul>
26	地域まちづくり部会	<p>◇道路の植栽について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今里筋の植栽について、管理が行き届いていないと考える。道路のセンターもそうだが、歩道側の植栽を思い切って1メートルくらいにカットするなど整備が必要では。</li> <li>・内環状線の道路については、どこの管轄になるか。あそこもかなり汚くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内環状線についても、管理は大阪市であり、関係局に申し伝える。</li> <li>・関係局に確認したところ、植栽の剪定・管理については年1回業者委託により実施し、雑草の除去等については、2～3カ月に1度の頻度で実施している。そのほか、状況により随時対応しているとのことである。</li> </ul>

27	地域まちづくり部会	<p>◇区民センター（ホール）の利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、合唱祭を開催したが、利用料が高く、団員から追加徴収するなど負担をかけている。</li> <li>・運営については、舞台照明等の担当者がプログラムを延ばし、非常に時間が無くなってしまった。</li> <li>・区役所と区民センターについて、関与の度合いや責任分担など、連携がうまくできていないと感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設使用料は大阪市区役所附設会館条例で決まっているので、面積に応じた金額となっている。また、マイク等の附属設備の使用料も同条例で決められている。</li> <li>・新しいホールでは、マイク等の設備機器の操作についてはオペレーターが必要となっている。</li> <li>・設備の仕様が高度で一般の方では操作できない部分があるためこのような状況になっているが、指定管理者とも調整しマイク設備については、ポータブルスピーカーを使用すればオペレーターが不要になるなど改善は行っている。引き続き改善できる点がないか検討は続けてまいりたい。</li> <li>・イベント運営については、事前に主催者とミーティングを行った上で行っている。行き違い等無いように十分にコミュニケーションを交わすよう伝えてまいりたい。</li> <li>・施設運営については、指定管理者として委託料を払っているため、一定の権限を与えており、その権限の中で区民センターで判断するように指導している。</li> <li>・ただし、新区民センター竣工から数か月経っているため、運営の中での問題点は都度解決を図り、毎月のモニタリング等で双方コミュニケーションを交わしながら連携を図っていきたい。</li> </ul>
28	地域まちづくり部会	<p>◇蒲生公園一帯への避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の際の避難は想定していないということだが、何のための広域避難場所の指定なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市の広域避難場所は、大規模火災、地震、津波、洪水の種別に応じて、避難可能かどうか決められており、蒲生公園一帯については、大規模火災、地震について避難可能となっている。</li> <li>・津波時等の水害時には、順次指定をしている水害時避難ビル等に避難していただくこととなる。現在、小中学校、市営住宅等公営住宅、URの住宅を指定しているが、今後地域の方と協力しながら民間のマンション、施設に避難できるよう検討してまいりたい。</li> <li>・なお、蒲生公園一帯の広域避難場所案内板および誘導標識については今後設置する予定である。</li> </ul>

29	地域まちづくり部会	<p>◇水害時の避難について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水害時における避難ビルへの避難訓練は、どういう予定で進めているのか。</li> <li>・鶴見緑地に避難する場合、子どもや高齢者は津波が押し寄せてくるまでに避難するのは大変なので、バスを出すなど移動手段の確保が必要であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害時避難ビルについては、大阪市全体で指定したこともあり、指定してはいるものの、実際居住されている方もまだ認識されていない現状であり、水害時の避難訓練は実施できていない。</li> <li>・今後特に水害が想定されている地域については、地域で行われている防災訓練の中に、そうした点も入れていく必要があると考えるが、地域と指定されている施設との協力・連携しながら実施する必要がある、今後、検討してまいりたい。</li> <li>・津波の際の避難は、必ずしも鶴見緑地等に避難しなくても「より早く」「より高く」（概ね3階以上）への避難をお願いしているところであり、自助・共助を基本とした避難方法等を日頃から各家庭等で考えておいてほしい。</li> <li>・なお、災害時のバスを利用した避難については、災害時にバスの確保の問題や、主要幹線道路が通行可能であるかどうかといったこと、道路渋滞した際に逃げ遅れる可能性があることなどを考えると、災害時の混乱した状況の中では現実的ではないと考える。</li> </ul>
30	地域まちづくり部会	<p>◇市民協働の取組等の区内全体への広がりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイラブ城北川の取組については、多数のイベントを実施しているが、区全体、特に南の方への広がりが薄いのではないかと。事業実施方法等を支援するコンサル事業者の選定について工夫が必要では。</li> <li>・実行委員会としては、ライトアップやキャンドルナイトなどのイベントを通じて、城北川の水がきれいになったことや憩いの場であることを知ってもらいたく活動してきた。今後、隣接する地域以外の方にも周知できるよう検討していきたい。</li> <li>・南部は新庁舎へも遠く、城東まつりを知らないという方もいるのでは。既存の周知方法以外に、城東区のすばらしさを別の方法でPRする必要がある。</li> <li>・その地域に住んでいる人が考えることが必要。住んでいる人みんなが意見を出し合っ、それが実現すれば住んでよかったというまちづくりにもつながる。</li> <li>・いろんな取組をしている人は、場所に限らず、城東区のため、みんなのためという気持ちで活動している。みなさんも、住んでいる地域に関わらず積極的に参画してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイラブ城北川については、委託事業でプロポーザルを行って事業者選定している。</li> <li>・来年度のプロポーザルに向け、内容を精査し、実行委員会の方にもご意見を伺いながら進めてまいりたい。</li> </ul>
31	地域まちづくり部会	<p>◇教育会議の開催内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育会議の今年の実施状況は。</li> <li>・教育現場で起こっているいろいろな問題を一つ一つ検討しながら、子どもたちのための話を進め、実のある会議にしていきたい。</li> <li>・前回の会議では、子どもの学力アップについて、今福小学校、蒲生中学校の取組が議題であった。</li> <li>・スマホやいじめの問題など、学校とも連携しながら子どもを取り巻く環境を把握したうえで、課題解決に取り組んでいくことが必要。</li> </ul>	—